

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 2年 3～8組
教科書	工芸Ⅱ（日本文教出版）	副教材等	プリント、技法書

## 1 学習の到達目標

工芸の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり工芸を愛する心情と生活を心豊かにするために工夫する態度を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、工芸の伝統と文化についての理解を深める。

## 2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	オリエンテーション  ・金属	生活と工芸	学習の意義と授業の内容について学ぶ。	発言内容
			社会と工芸	機能と美を合わせ持ったものづくりを行うことを理解する。	ワークシート
			社会と工芸	金属の扱いや特性を理解し、使う人や使用する場面、求められる機能や条件を考え、デザインを発想し、構想をまとめる。	アイデアスケッチ
	5	鍛金 「真鍮スプーン」		金属の特性を理解し、道具の扱いに注意し、表現方法の工夫をし丁寧に制作する。	制作途中の作品
	6			表現の意図に応じた用具を選び、効果的な技法を創意工夫し、計画や手順を考え制作する。	制作途中の作品
				表現に改善を加え作品の完成度を追究し、表現意図に応じた技法や道具を使い制作する。	完成した作品
	7		鑑賞	お互いの作品を鑑賞し、良いところなど意見を述べ合い、作者の意図や心情、創造的な表現の工夫などを感じ取り、まとめる。	発言内容 ワークシート
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	・皮革 平縫い 「小物ケース」	社会と工芸	皮革や用具の特性を生かし、効果的な手順や技法を習得し、使う人や使用する場面、求められる機能や条件を考え発想し、構想をまとめる。	アイデアスケッチ
	10			皮革の特性を理解し、道具の扱いに注意し、表現方法の工夫をし丁寧に制作する。	制作途中の作品
				表現の意図に応じた用具を選び、効果的な技法を創意工夫し、計画や手順を考え制作する。	制作途中の作品
	11		鑑賞	表現に改善を加え作品の完成度を追究し、表現意図に応じた技法や道具を使い制作する。 お互いの作品を鑑賞し、良いところなど意見を述べ合い、作者の意図や心情、創造的な表現の工夫などを感じ取り、まとめる。	完成した作品 発言内容 ワークシート
	12		生活と工芸	石材の扱いや特性を理解し、与えられた素材を最大限に生かし、用途に合ったデザインを考え発想し、構想をまとめる。	アイデアスケッチ

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	・ガラス工芸 ステンドグラス 「ランプシェード」	生活と工芸	作品を鑑賞し、ステンドグラスやガラス加工の特性に気づき、美しさを学ぶ。	発言内容 ワークシート
	2			ガラスの特性を理解し、使う人や使用する場面、求められる機能や条件を考え、デザインを考える。 ガラスの扱いや怪我に注意し、効果的な表現技法を創意工夫し、計画や手順を考えながら丁寧に制作する。	アイデアスケッチ  制作途中の作品
	3			表現に改善を加え、作品の完成度を追求し、表現意図に応じた技法や用具を使い制作する。  お互いの作品を鑑賞し、良いところなど意見を述べ合い、作者の意図や心情、創造的な表現の工夫などを感じ取り、まとめる。	完成した作品  発言内容 ワークシート
			鑑賞		

### 3 評価の観点

知識・技術	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表すことができている。
思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識をもって工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めている。
主体的に学習に取り組む態度	感性を高め、工芸の伝統と文化に親しみ、生活や社会を心豊かにするために工夫して工芸の幅広い創造活動に取り組んでいる。

### 4 評価の方法

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点から総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

- ・工芸は用途とデザインが調和した作品であることが条件です。
- ・より良いものづくりの基本としては、もの（作品・道具）を大切に扱い、管理することが大切です。
- ・実際に日常生活で使うことを前提に制作に取り組むことで、作品の完成度が上がります。